



平成 30 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社ヤマウラ  
代表者名 代表取締役社長 山浦 速夫  
(1780 東証 名証 第1部)  
問合せ先 専務取締役管理本部長 中島 光孝  
電話番号 0265-81-6070

## 第 2 四半期連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 30 年 5 月 15 日に公表いたしました平成 31 年 3 月期（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）の第 2 四半期連結累計期間の業績予想と本日公表の実績との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、平成 31 年 3 月期の通期連結業績予想につきましても下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

1. 平成 31 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想と実績との差異（平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,000	1,060	1,100	690	36.46
実績値 (B)	14,893	1,351	1,433	959	51.96
増減額 (B - A)	2,893	291	333	269	—
増減率 (%)	24.1	27.5	30.3	39.0	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 30 年 3 月期第 2 四半期)	—	—	—	—	—

### 差異理由

当第 2 四半期連結累計期間につきましては、売上高について、大型工事の進捗が予想を上回って売上高に寄与したことが要因です。利益について、円安に伴う資機材価格の高止まり、専門工不足が引き続く中で施工人件費の増加傾向である等、受注環境が厳しい状況で、I Eを主としたK A I Z E N活動や仮設資材等の軽量化・省力化による工数削減等にて工事原価の引き下げを行なったこと、加えて販売費・一般管理費の一層の効率運営を図ったことより、親会社株主に帰属する当期純利益が当初予想を上回りました。

2. 平成 31 年 3 月期 通期連結業績予想の修正（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	20,000	1,630	1,660	990	52.31
今回修正予想（B）	22,000	1,830	1,860	1,200	65.43
増減額（B－A）	2,000	200	200	210	－
増減率（％）	10.0	12.3	12.0	21.2	－
（ご参考）前期実績 （平成 30 年 3 月期）	14,135	1,215	1,265	829	43.82

修正理由

通期連結業績予想につきましては、第 2 四半期連結累計期間と同様の傾向が下期も継続すると考えられ、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益いずれも当初予想を上回る見通しであることから、現状の受注環境の厳しさも勘案のうえ、上方修正いたします。

なお、配当予想の修正はありません。

※上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以 上